

令和元年度 学芸員・文化財保護専門技術者等の研修会等一覧（文化庁等関係）

（令和元年5月現在）

研修会名	対象	趣旨	開催時期・期間	場所	担当課	連絡窓口
博物館長研修	主として登録博物館，博物館相当施設又は博物館類似施設の館長・副館長等に就任して2年未満の者 50名	新任の博物館長等に対し，博物館の管理・運営，サービスに関する専門知識や，博物館を取り巻く社会の動向などについて研修を行い，博物館運営の責任者としての力量を高める。	令和元年 10月2日（水） ～10月4日（金）	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター	文化庁企画調整課	博物館振興係
博物館学芸員専門講座	登録博物館，博物館相当施設又は博物館類似施設に勤務する学芸員若しくは同等の職務を行う職員で，勤務経験が概ね7年以上で指導的立場にある者 50名	学芸員として必要な高度かつ専門的な知識・技術に関する研修を行い，都道府県・指定都市等での指導的立場になりうる学芸員としての力量を高める。	令和元年 12月11日（水） ～12月13日（金）	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター	文化庁企画調整課	博物館振興係
学芸員等在外派遣研修	博物館の学芸員等専門職員 若干名	博物館に勤務する学芸員又は学芸員補を諸外国の博物館等に派遣し，先進的な博物館における展示，教育普及活動及び博物館行政等に関する調査を行わせ，その研修成果を国の博物館施策に反映させるとともに地域の学芸員等専門職員の研修・職務において有効に活用させる。	長期派遣研修 3か月 短期派遣研修 1か月 特別派遣研修 1週間	—	文化庁企画調整課	博物館振興係
ミュージアム・マネジメント研修	①博物館の管理運営担当職員 ②地方公共団体の文化行政担当職員 50名程度	博物館の管理運営に関わる職員を対象に，企画及び管理運営に必要な専門的知識ならびに博物館を取り巻く社会動向について研修を行う。	令和元年 11月27日（水） ～11月29日（金）	東京国立博物館附属 黒田記念館	文化庁企画調整課	事業係
ミュージアム・エデュケーション研修	博物館に勤務する学芸員等 50名程度	博物館の現職学芸員等を対象に，教育普及を企画・運営するために必要な知識・技能を習得する研修を行う。	（前半）令和元年 9月25日（水） ～9月27日（金） （後半）令和2年 2月6日（木） ～2月7日（金）	（前半） 東京都美術館 （後半） 国立科学博物館	文化庁企画調整課	事業係

研修会名	対象	趣旨	開催時期・期間	場所	担当課	連絡窓口
文化財行政講座	地方公共団体等の文化財行政担当職員等で、経験年数3年未満の者 100名程度	文化財行政の遂行に必要な基礎的事項及び実務上の課題に関する研修	令和元年 12月2日(月) ～12月4日(水) (予定)	文化庁	文化庁資源活用課	活用連携計画官付
「文化財保存活用地域計画」研修会	地方公共団体等の文化財行政実務担当職員等 100名程度	「文化財保存活用地域計画」の策定に必要な事項、実務上の課題、事例紹介に関する研修(実地研修含む)	令和元年 7月24日(水) ～7月26日(金)	長崎県平戸市	文化庁地域文化創生本部事務局	広域文化観光・まちづくりグループ
歴史民俗資料館等専門職員研修会	歴史民俗資料館、教育委員会等で資料(文化財を含む)の保存と活用にあたる専門職員で、原則として勤務経験5年未満の者 50名程度	歴史資料、考古資料、民俗資料等の調査、収集・保存、公開等に必要な専門的研修を行う。	令和元年 11月11日(月) ～11月15日(金) ※令和元、2年度を通じて実施予定。	国立歴史民俗博物館	文化庁文化財第一課	活用連携係
指定文化財(美術工芸品)企画・展示セミナー	指定文化財(美術工芸品)を公開する博物館等の学芸担当者 25名程度×2会場	有形文化財(美術工芸品)の公開に関する専門的知識・技能の研修を行う。	①令和元年 6月24日(月) ～6月28日(金) ②令和元年 10月7日(月) ～10月11日(金) ※平成30、令和元年度を通じて実施予定。	①東京国立博物館 ②京都国立博物館	文化庁文化財第一課	活用連携係
文化財(美術工芸品)修理技術者講習会	文化財(美術工芸品)の修理に携わる事業者等の技術 30名程度	文化財(美術工芸品)の修理に関わる専門的知識等の研修	令和元年 10月21日(月) ～10月25日(金) ※平成30、令和元年度を通じて実施予定。	文化庁	文化庁文化財第一課	活用連携係
国宝・重要文化財(美術工芸品)防災・防犯対策研修会	教育委員会および博物館等施設の防災・防犯対策担当者 100～150名程度	都道府県教育委員会や美術館・歴史博物館の職員等に対し、国宝・重要文化財(美術工芸品)等の効果的な防災・防犯対策及び国庫補助事業の説明並びに文化財保護法上必要な手続きについての研修を実施し、文化財の適切な活用、保存及び継承を図る。	令和元年 6月21日(金)	文化庁	文化庁文化財第一課	活用連携係(審議会係)

研修会名	対象	趣旨	開催時期・期間	場所	担当課	連絡窓口
美術刀剣刀匠技術保存研修会	新たに美術刀剣類の製作承認申請をしようとする者	新たに美術刀剣類の製作承認申請をしようとする者を対象に、日本刀に対する正しい基礎知識及び鍛錬技術の研修を行い、もって一層の技量の向上を図り、併せて刀匠としての意識の涵養を図る。	令和元年 5月28日(火) ～6月4日(火)	備前長船刀剣博物館	文化庁文化財第一課	調査係
	10名程度					
銃砲刀剣類登録鑑定実技講習会	(登録事務協議) 銃砲刀剣類登録事務担当	銃砲刀剣類登録規則(昭和33年文化財保護委員会規則第1号)に規定する、美術品若しくは骨董品として価値のある火縄式鉄砲等の古式銃砲又は美術品として価値のある刀剣類の登録に当たっての鑑定に関し、実技講習を行うことにより、登録審査委員の資質の向上を図り、もって銃砲刀剣類の登録事務のさらなる円滑化を図る。	秋ごろ(予定)	東京都内	文化庁文化財第一課	調査係
	各都道府県から1名					
	(実技講習) 登録審査委員					
	各都道府県から2名					
埋蔵文化財担当職員等講習会	地方公共団体、公益法人等の埋蔵文化財担当職員等	発掘調査に当たり開発事業者等との協議を担当する地方公共団体の埋蔵文化財担当職員等に、埋蔵文化財行政に必要な知識を習得させることにより、円滑な発掘調査の実施を図ることを目的とする。	①令和元年 8月21日(水) ～8月23日(金) ②令和2年 2月5日(水) ～2月7日(金)	①北海道 ②愛媛県	文化庁文化財第二課	埋蔵文化財部門
埋蔵文化財専門職員等を対象とした文化財マネジメント職員養成研修	地方公共団体、法人調査組織の埋蔵文化財担当職員	文化財保存活用大綱及び文化財保存活用地域計画の策定するうえで、各地方公共団体において、文化財の価値を相対的に把握し、一体的な保存と活用を企画・立案する専門的な人材を養成することを目的とする。	①令和元年 9月24日(火) ～9月27日(金) ②令和2年 2月18日(火) ～2月21日(金)	①東京都 ②京都府	文化庁文化財第二課	埋蔵文化財部門
	120名程度					
文化的景観保護実務研修会	地方公共団体文化財保護担当部局(ほか関係部局)の担当者等	文化的景観保護制度にかかる説明及び文化的景観保護にかかる取組の紹介の説明を行い、もって制度の理解促進を図る。	令和元年 6月3日(月)	東京都 (文部科学省東館3階講堂)	文化庁文化財第二課	文化的景観部門
登録有形文化財(建造物)事務担当者連絡会	地方公共団体の文化財行政担当者	登録有形文化財建造物にかかる事務手続きの説明や保存活用にかかる取組の報告などを通じて、登録制度の理解促進及び担当者間の情報共有を図る。また現地見学会を通じて、保存活用についての実例等を学ぶ。	令和元年 10月24日(木) ～10月25日(金)	東京都 (文部科学省東館3階講堂)外	文化庁文化財第二課	登録部門(建造物)
	120名程度					

研修会名	対象	趣旨	開催時期・期間	場所	担当課	連絡窓口
伝統的建造物群保護行政研修会 (基礎コース)	地方公共団体の職員及び伝統的建造物群の保存に関わる専門家・技術者等 40名程度	伝統的建造物群保存地区に関わる職務遂行に必要な基礎的事項に関する研修	令和元年 7月10日(水) ～7月12日(金)	栃木県栃木市	文化庁文化財第二課	伝統的建造物群部門
伝統的建造物群保護行政研修会 (実践コース)	伝統的建造物群保存地区制度を導入している地方公共団体の職員で、2年以上の実務経験を有する者 40名程度	伝統的建造物群の保存に関わる諸問題に的確に対応するために必要な専門的事項に関する研修	令和元年 8月22日(火) ～8月30日(金)	未定	文化庁文化資源活用課	伝統的建造物群部門
文化財建造物修理主任技術者講習会 (普通コース)	文化財建造物修理工事の設計または施工の監理等の実務経験を有する者 20名程度	文化財建造物保存修理工事の主任技術者として必要な知識及び技術の研修 ※前期・後期2か年で開催。平成29年度は前期を実施。	(令和元年度は上級コースを開催のため、普通コースは開催しない。)	—	文化庁文化資源活用課	修理指導部門
文化財建造物修理主任技術者講習会 (上級コース)	同上で普通コースを受講した者 20名程度	国宝等の文化財建造物保存修理工事の主任技術者として必要な知識及び技術の研修	令和元年 8月22日(木) ～8月30日(金)	東京都 (旧醸造試験所第一工場(赤煉瓦酒造工場)講義室)	文化庁文化資源活用課	修理指導部門
文化財建造物保存修理関係者等連絡協議会	都道府県の文化財建造物担当者及び文化財建造物修理主任技術者 300名程度	重要文化財建造物保存修理事業等の適正な遂行を図るため、技術上の総括的な指揮監督にあたる者と事業に伴う技術的諸問題について協議をし、もって修理技術の向上と設計監理業務の円滑な実施を図る。	令和元年 10月23日(水)	東京都 (東京国立博物館平成館大講堂)	文化庁文化資源活用課	修理企画部門

※この他「文化財を中核とする観光拠点形成に向けたオンライン講座」を文化庁HPにて公開 (http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/kankokyoten_koza/index.html)

研修会名	対象	趣旨	開催時期・期間	場所	担当課	連絡窓口
学芸員専門研修アドバンス・コース	自然科学系博物館等の学芸員等専門職員	自然科学系博物館等に勤務する中堅学芸員を対象に、一層の資質向上を目的として高度な内容の研修を行う。	令和元年 11月11日(月) ～11月14日(木)	国立科学博物館 筑波研究施設 上野本館	独立行政法人 国立科学博物館	学習課
	20名					
美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修	① 小・中・高等学校教員(国公立校, 私立校全ての教員) ② 美術館学芸員 ③ 指導主事	鑑賞教育の重要性を踏まえ、全国の教員と美術館の学芸員などが一堂に会してグループ討議等を行うことにより、美術館を活用した鑑賞教育の充実及び学校と美術館の一層の連携を図る。	令和元年 7月29日(月) ～7月30日(火)	国立国際美術館 (7/29) 大阪大学中之島セン ター(7/30)	独立行政法人 国立美術館	研修担当室
	80名程度					
独立行政法人国立美術館キュレーター研修	公私立美術館の学芸担当職員	公私立美術館の学芸担当職員(学芸員資格を有する者)を対象とした研修を実施し、その専門的知識及び技術の向上を図る。	4月1日～翌年3月31日 の期間で研修生の希望を踏 まえ、受入館が承認した期 間とする。	東京国立近代美術館 京都国立近代美術館 国立西洋美術館 国立国際美術館 国立新美術館	独立行政法人 国立美術館	研修担当室
	若干名					
博物館・美術館等の保存担当学芸員研修	国公立博物館・美術館等に勤務する保存部門の担当者又は教育委員会等に勤務する社寺等の資料の保存担当	文化財保存に関する基礎的な知識及び技術についての講義・実習を行う。	令和元年 7月8日(月) ～7月19日(金)	東京文化財研究所 外	独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所, 文化財活用センター	文化財活用セン ター 保存担当
	30名程度					
国際研修「紙の保存と修復」	紙の保存と修復を担当する海外の学芸員及び保存担当者	紙文化財の保存修復に関する基礎的な材料学、史学的な講義、装こう修理技術についての講義及び実習を行う。	令和元年 9月9日(月) ～9月27日(金)	東京文化財研究所 外	独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所	文化遺産国際協 力センター
	10名程度					
文化財担当者研修	地方公共団体の文化財担当職員若しくはこれに準ずる者	文化財保護行政に必要な専門的知識と技術について研修を行う。	年間を通し、3日間～9日 間の研修を14課程開催 (課程ごとにそれぞれ異なる。)	奈良文化財研究所 外	独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所	総務課
	各課程6～15名					